

令和2年度 帯広市奨学生追加募集要領

1 目的

帯広市の奨学金制度は、向学心があり十分な能力があるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な学生又は生徒に学資を貸与し、有用な人材を育成することを目的としています。

今回の追加募集については、新型コロナウイルス感染症の影響による保護者の収入減等、就学にかかる費用の確保が困難な方を対象に貸付を行うものです。

2 奨学生の資格

奨学生(奨学金の貸与を受ける学生又は生徒)は、帯広市の住民基本台帳に記載されている方の子弟で、次の要件を満たしている必要があります。

- (1) 大学(短期大学を含む)、専門学校(修業年限2年以上の専門課程に限る)又は高等学校(高等専門学校を含む)に在学していること。
- (2) 学業が優秀で、かつ身体健全であること。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響による保護者の収入減等、就学にかかる費用の確保が困難であること。

3 申請の方法

奨学金の貸与を希望される方は、連帯保証人2名が連署した申請書に必要書類を添付のうえ、所定の期日までに直接、帯広市教育委員会学校教育課まで提出してください。

郵送や保護者以外の方からの申請(学校を経由しての提出等を含む)は、原則として認めておりませんのでご留意願います。

なお、申請書は必ず奨学生本人が記入してください。

4 申請受付期間

令和2年5月20日(水)から令和3年3月31日(水)まで、ただし定員に達した時点で終了(土曜日、日曜日、祝日は除きます。)

5 貸付予定人数

大学:20人、専門学校:5人、高校:10人

6 貸与金額

- (1) 大学生 月額 50,000円以内 (50,000円・30,000円・20,000円のいずれかを選択)
- (2) 専門学校生 月額 30,000円
- (3) 高校生 月額 7,000円

7 貸与方法

貸与が決定した翌月末までに前期分を、9月に後期分を指定口座に振り込みます。決定した月が9月以降の場合は前後期分あわせて、貸与が決定した翌月末までに振り込みます。なお、令和3年度以降は毎月払いを予定しておりますが、振込方法に変更がある場合は改めて通知いたします。

8 貸与期間

在学する学校の正規の修業年限以内とします。

9 申請書類及び記載等の注意事項

(1) 「奨学金申請書(様式第1号)」

ア 「生計を一にする家族の状況」欄には、申請者本人、同居している家族を先に記入し、次に別居している家族(大学生等)を記入してください。

家族のうち在学中の方がいる場合は、「職業」欄に学校名学年を、また病気療養中の方がいる場合は、その旨を記入してください。また、「障害の有無」欄には、身体障害者手帳の等級等を記入してください。

イ 裏面の「各種活動」欄には、申請者の最終学校在学時の各種活動歴を記入してください。

(例: インターハイ: スケート3位、道展: 彫刻 優秀賞、バレーボール部: 主将、生徒会: 会長、ボランティア活動等)

ウ 2名の連帯保証人のうち「連帯保証人(保護者)」は、父母のうち生計を担っている方とします(父母がいない場合は後見人とします)。また、もう一方の「連帯保証人」は、保護者以外で、帯広市内に居住し、かつ独立した生計を営んでいる方とします(祖父・祖母以外の方をお願いいたします)。

なお、申請受付後に、保護者以外の連帯保証人へ確認のお電話をさせていただきます。電話等で直接確認が取れない場合や保証意志が確認できない場合は、申請書類を返戻させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 住民票

申請者と家族全員が記録されている本籍地が記載された住民票(謄本)と、保護者以外の連帯保証人の本籍地が記載された住民票(抄本)を各1通提出してください(マイナンバーの記載のないもの)。

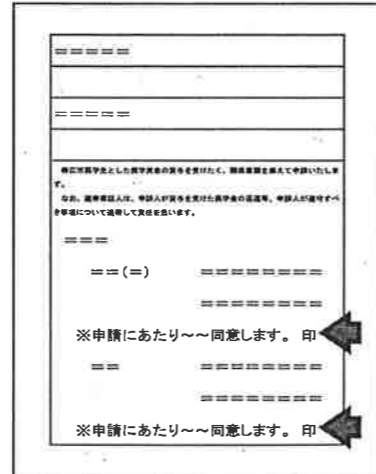
なお、「奨学金申請書(様式第1号)」裏面の各同意欄に押印いただいた場合は、それぞれの住民票の提出を省略することができます。

(3) 所得を証明する書類

保護者(父母又は父母がいない場合は後見人)の平成30年分(平成30年1月から12月まで)の所得を証明する書類を提出してください。ただし、生活保護法による扶助を受けている場合は生活保護受給証明書を提出してください。

なお、「奨学金申請書(様式第1号)」裏面の同意欄に押印いただいた場合は、所得を証明する書類の提出を省略することができます(生活保護受給証明書は省略できません)。

※奨学金申請書(様式第1号)裏面イメージ



同意の上、矢印の箇所に押印していただいた場合は、住民票及び所得を証明する書類の提出を省略できます。

(4) 「奨学生推薦書(様式第2号)」

進学された方(1年生)は最終卒業学校の校長、在学中の方(2年生以上)は在学する学校の校長・学長(又は学部長)による推薦書を提出してください。なお、奨学生推薦書は提出先以外で開封されたものは受理できません。

(5) 「帯広市奨学金の申し込みにあたって」(奨学生本人が記載してください)

(6) 在学証明書

(7) 誓約書(奨学生本人が記載してください)

(8) 口座振込依頼書(大学生、専門学校生は本人、高校生は保護者名義の普通預金口座)

(9) 預金通帳の写し(銀行等支店名、口座番号、口座名義確認のため)

(10) 収入減が確認できる書類など

(11) その他

専門学校奨学金を希望される方は、専門学校入学募集要項及び年間の授業時数がわかる資料。高校生は委任状を提出してください。

10 奨学生の決定までの流れ(5月申請の場合、なお申請状況によって変更することがあります)

帯広市奨学生選考委員会の選考を経て、6月中に選考結果を通知いたします。

(例 5月申請の場合)

	申請者	教育委員会
5月	申請	
6月		6/5〆切 選考 決定
7月		振込

(例 6月申請の場合)

	申請者	教育委員会
6月	申請	
7月		6/末〆切 選考 決定
8月		振込

12 奨学金の返還義務

みなさまにお貸しする奨学金の運営資金は、被貸与者(すでに貸与を受けた方)からの返還金、善意による寄附金並びに市税等からなっており、中でも被貸与者からの返還金が運営資金の大部分を占めています。

本市の奨学生として、このことを深く認識していただくとともに、学業を修了し、社会に出て自立した時点から適切な計画のもと返還することにより、同じような境遇にある後輩に進学向学の道を拓く義務を負うことを自覚してください。

貸与する奨学金は無利子です。返還年数は、大学生並びに専門学校生は11年以内、高校生は7年以内となります。返還方法は、年賦、半年賦、月賦(定額方式又は段階方式(※下記参照))のいずれかによりますが、詳細は貸与終了時に決定することになります。

【返還例】

(例) 4年制大学に入学し、月額50,000円を借り受け、卒業後10年間で返還する場合
貸与総額2,400,000円

(定額方式)

返還額 20,000円/月 × 120ヶ月 = 2,400,000円

(段階方式)

前半期返還額 16,000円/月 × 60ヶ月 = 960,000円

後半期返還額 24,000円/月 × 60ヶ月 = 1,440,000円

計 2,400,000円

(前半期) 定額方式で算出した金額に0.8を乗じた金額を返還し、

(後半期) 定額方式で算出した金額に1.2を乗じた金額を返還していただきます。

100円未満の端数が生じる場合は、最後の返還時に端数分も合わせて返還していただきます。

13 奨学生の届出義務

奨学生は、貸与を受ける間の毎学年当初、教育委員会が指定する日までに、「在学届(様式第14号)」に学業成績証明書を添えて、教育委員会に提出してください。

奨学生が休学、復学、転学、退学したとき、または本人、連帯保証人の住所、勤務先及び振込口座等に異動が生じたときは、速やかに教育委員会に届け出を行ってください。

帯広市奨学金のお問い合わせ先

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地

帯広市教育委員会 学校教育部 学校教育課

電話 (0155) 65-4203 (直通)

奨学金申請書

申請者	ふりがな氏名				生年月日	年 月 日
	現住所	〒 _____ _____				
第1希望	立	大学 学校	学部 学科	年	在学予定	
	奨学金 (希望額・期間)	月額	円	年 月から	年 月	
第2希望	※第1希望と異なる種別の学校を希望する場合のみ記入してください。					
	立	大学 学校	学部 学科	年		
	奨学金 (希望額・期間)	月額	円	年 月から	年 月	
生計を一にする家族の状況	続柄	氏名	年齢	職業(勤務先)、学校(学年) <small>※申請時点現在</small>	障害の有無	
	申請人					
経歴	年	小学校卒業	年	中学校卒業	年	高校卒業
申請理由(奨学金貸与を希望する事情を詳しく記入してください)						
・現在の状況(家庭状況、経済状態等)						

(裏面へ続く)

・各種活動（クラブ、生徒会、ボランティア等）

・将来めざしていること

帯広市奨学生として奨学金の貸与を受けたく、関係書類を添えて申請いたします。
なお連帯保証人は、申請人が貸与を受けた奨学金の返還等、申請人が遵守すべき事項について連帯して責任を負います。

年 月 日

帯広市教育委員会 様

申請人 氏名 _____ 印
連帯保証人（保護者） 住所 _____
氏名 _____ 印（続柄 _____）
職業（勤務先） _____
電話番号（自宅） _____
"（勤務先） _____

※申請にあたり、帯広市教育委員会が私の世帯の住民票の情報 及び
平成30年度市民税課税台帳 を閲覧することに、同意します。 印

連帯保証人 住所 _____
氏名 _____ 印（続柄 _____）
職業（勤務先） _____
電話番号（自宅） _____
"（勤務先） _____

※申請にあたり、帯広市教育委員会が私の住民票の情報 及び
平成30年度市民税課税台帳 を閲覧することに、同意します。 印

奨 学 生 推 薦 書

推薦生徒学生	学校名 _____ 学部名 _____ 学科名 _____	
	学 年 _____ 年 卒業年 _____ 年卒	
氏 名	氏 名 _____	
学業について の 所 見	<div style="border: 1px dashed black; width: 80px; height: 40px; display: inline-block;"></div> ※ 現在の学年の全教科を5段階で評価し、平均値（少数第2位で四捨五入）を記入してください。ただし、1年生の場合は、最終学年の評価を記入してください。	
人物・健康状態についての 所 見	A 特に優れている。	該当欄に○印を付してください。
	B 優れている。	
	C 普通である。	
	D 適格性にやや欠ける。	
	E 適格性に欠ける。	
将来に対する 総合的所見	・本人の姿勢、意欲、クラブ活動、ボランティア等について	

上記の者を帯広市奨学生として推薦いたします。		
年 月 日		
帯広市教育委員会 様		
学長・学部長		
学校名 _____	校 長 名 _____	印

(裏面)

推薦書作成上の留意事項

1. 推薦書は、進学する方は最終卒業学校の長、在学中の方にあっては
在学する校長、学長または学部長に記載を依頼してください。
2. 本書には必ず校長、学長または学部長の職印を押印願います。
3. 本書は学校にて封緘願います。
4. 学業の所見について、5段階評価を実施していない場合は、5段階評価法に変換
して記入してください。不明な場合は現在の学年の成績証明書を添付してください。
ただし、現在在学していない場合は、最終学年の成績証明書を添付してください。

誓 約 書

私は、このたび帯広市奨学生として奨学金の貸与を受けるに当たり、次のことを誓約いたします。

1. 健康に留意し、奨学生としてふさわしい生活態度で学業に励みます。
2. 帯広市奨学条例及び施行規則を遵守し、貸与を受けた奨学金については、返還債務に基づき返還いたします。
3. 本人が奨学金を返還しないときは、連帯保証人がその全額を代わって返還いたします。
4. その他本人に係る一切の責任は、連帯保証人が本人と連帯してその責任を負います。

年 月 日

帯広市教育委員会 様

本人 (奨学生)

住所

氏名

印

学校・学年

電話番号

連帯保証人 (保護者)

住所

氏名

印

電話番号

連帯保証人

住所

氏名

印

電話番号